

I 提言するに際しての視点と求められる施策

■ ソーシャルイノベーションの重要性

・ICTコトづくりにおいて期待される3つのイノベーション(ソーシャル、ビジネス、ユーザ)があるが、国が支援すべき領域としてはソーシャルイノベーションに向けた取り組みが特に重要と考える。具体的取組のポイント①②③および④に関連し以下の施策を提言したい。

<提言するに際しての視点>

実現に向けた問題意識	<p>解決すべき社会的課題は地域に多く存在する</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 公共と民間、民間同士のデータをつなぐことで新たな価値の創出、社会的課題の解決につながる※ ■ 地域におけるICTコトづくりの担い手として、地域密着の情報産業の存続や人材力向上が不可欠
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本の強みを活かす産学連携による共創の強化

<求められる施策>

- ①ICTコトづくりの推進に向けた新たな仕組みの創設
- ②ICTコトづくりプロジェクトの推進
- ③ICTコトづくりの推進に向けた環境整備
 - 民間データの活用を可能とする
 - 公共と民間データの連携を加速させる
 - 人材育成と活動支援
- ④産学官が連携して共創する場の構築
 - ICTコトづくりを国民運動とする産学官の場づくり
 - 共同研究成果である知財の事業活用促進

※公共、民間データの連携による新たな価値創造の例

・公共データと民間の旬なデータを地域に結合し、様々なメディアで多角的に活用(地域のメディア連携・データ連携)

- 観光を中心としたイノベーション(自治体の観光情報、地域住民のお勧め情報の活用で地域の魅力を集結)
- 地域産業の活性化(店舗のお勧め情報、クーポン情報の活用によるタイムリな店舗情報の提供サービス)



II ポイント①②③ICTコトづくりの推進に向けた仕組みの創出、プロジェクト推進、環境整備

(1)民間データの活用を可能とする

- 公共のオープンデータ化に加え、民間データの再利用可能化(RDF化など)を進めるために、まずは公共データを積極的に再利用可能化し、公共データとの連携を想定した民間データの作成を促す
 - ・行政プロジェクト(委託事業、補助事業、実証実験等)のデータは再利用可能化を条件とする
 - ・公共への納入データ、納入著作物は、行政から第三者への二次利用許諾を可能とすることを調達条件とする
- 二次利用を許諾するライセンス制度の民間での利用促進
- CSRの一要素として、企業の公開情報(IR情報等)の再利用可能化を普及啓発

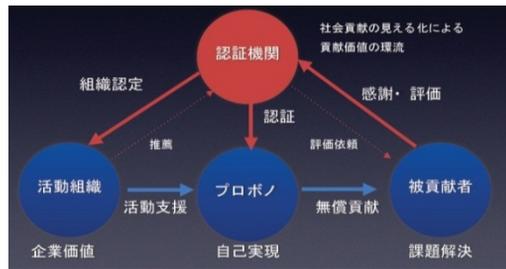
(2)公共、民間データの連携を加速させる

- 民間サービスの公共による積極活用
 - ・ICTコトづくりで生まれた民間サービスを公共が積極活用しやすくするために、例えばサービス提供する企業の与信やリスクを客観的に評価し、官民連携を円滑化する第三者機関を設置する
- 地域情報サービス等の地域間流通の促進
 - ・ICTコトづくりで生まれた地域の情報サービス、アプリケーション、利活用モデル、データセットなどの「地域の情報特産品」を地域間で流通促進させるための仲介機構の設置(HPでの紹介や斡旋仲介など)

(3)人材育成と活動支援

- 公共と民間をつなぐハブ人材(地域ICTコーディネータ)の発掘・養成
 - ・全国の地域ICTコーディネータ間の情報交流・経験の場の提供
 - ・認定制度などの活動フレーム策定
 - ・活動費用支援(派遣費用の負担)や派遣の仲介
- プロボノ活動を促進する仕組み
 - ・プロボノ活動による地域での共創は、プロボノ活動が保証される仕組みがないと普及しないため、プロボノ活動を可視化し企業価値へ繋げるための第三者機関を設置する

[プロボノ可視化・循環モデル]



III ポイント④産学官が連携して共創する場の構築

- ICTコトづくりを国民運動とする産学官の場づくり
 - ・コトづくり・サービス化を企業や行政、学会を含めて「国民運動」とするような場づくりをし、産学官で横断的に活動する
- 共同研究成果である知財の事業活用促進
 - ・大学の共同研究契約ひな形における不実施補償※条項をICT分野へは適用対象外とし、産学の研究成果を活かした競争力あるICTコトづくりの事業化を後押しする
 - (背景) ICT分野は、医薬業界等と異なりひとつの事業に対し数多くの特許が必要、利益率が低いという産業特性がある。不実施補償が求められると当該費用が原価に積み上げられ、市場での価格競争力が低下するため企業は研究成果を活用しづらい。
 - ※不実施補償: 事業を行わず知財を実施しない(不実施)大学に対し、補償として企業が大学にロイヤリティを支払う考え方。